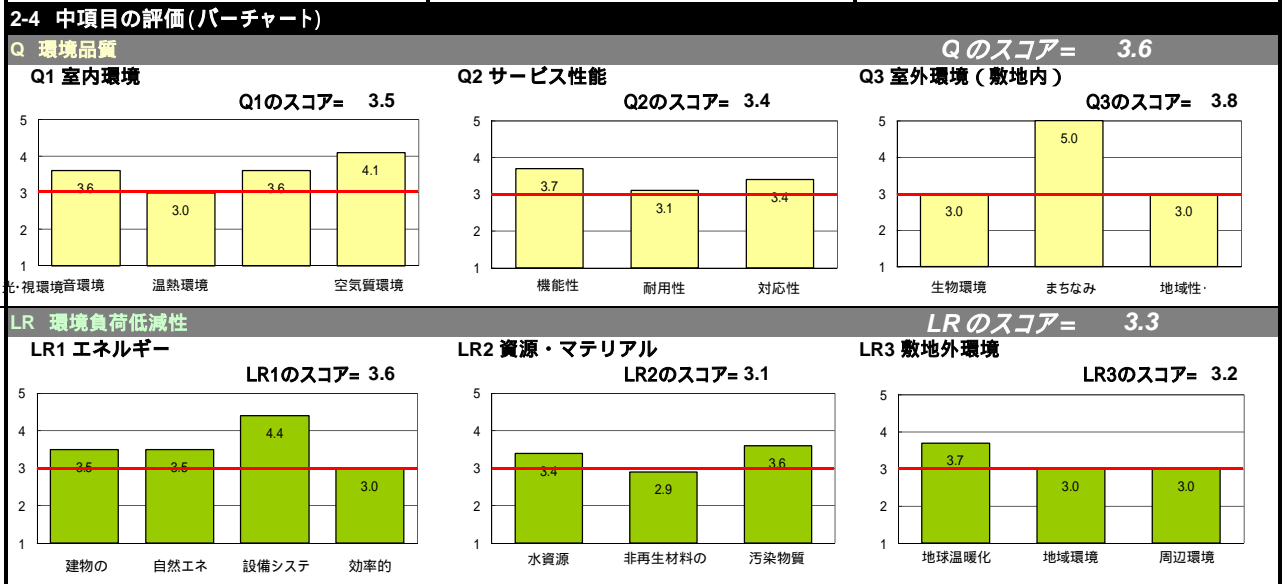
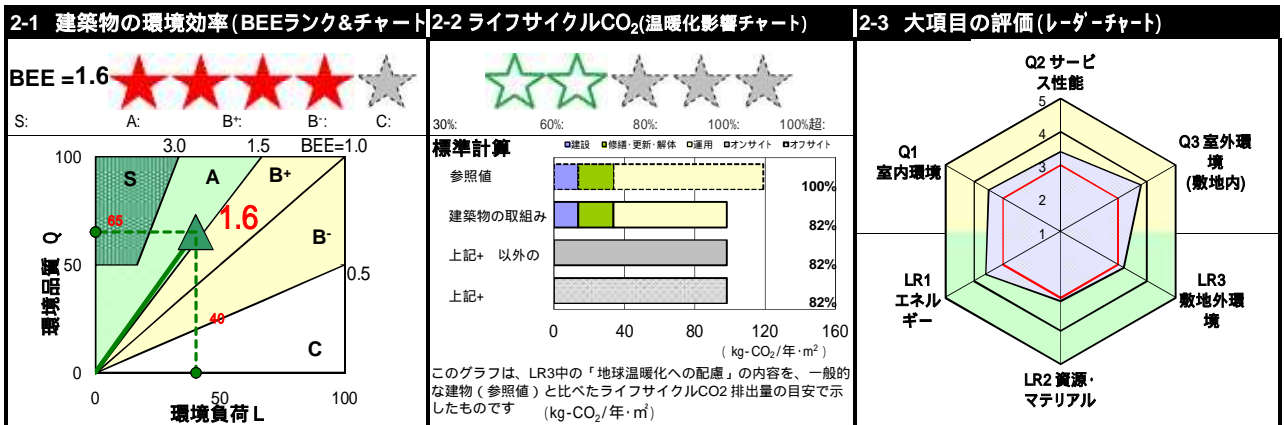


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 在原製作所 藤沢事業所 本館	階数	地上3F
建設地	藤沢市本藤沢4-2-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	500 人
気候区分		年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年1月 0.0	評価の実施日	2013年1月10日
敷地面積	7,896 m ²	作成者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所
建築面積	4,528 m ²	確認日	2013年1月10日
延床面積	10,156 m ²	確認者	株式会社竹中工務店東京一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
食堂、厨房、事務所、ゲストハウスを一体化した厚生施設 震災などの非常時に、活動拠点となるような施設		太陽光発電が将来対応可能なように荷重等を考慮している
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
設備配管を極力集約し、設備騒音を減少させ、メンテナンス効率を高めている グラインド及び南面にL-B-底を設置し、昼光制御している 採光のため屋根にトップライトを設置している	事務室はOAフロアとし、リフレッシュスペースや共用スペースを多くとり、快適な執務空間を創出している	敷地の中央に通る緑の並木道からアプローチする建物は、歩行者に豊かな潤い空間をもたらしている
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物内部に光庭を設け、採光あふれる執務空間にしている。また断熱性能の高い外壁や屋根の材料を採用し、冷暖房の使用エネルギーを削減している。LED照明設備により省エネルギーに配慮している。	有害物質を含まない材料を採用する。節水型器具を使用している。	雨水貯留槽を設け、雨水流出を抑制している

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、**L:** Load (建築物の環境負荷)、**LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、**BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される